

かけはし

Vol.93

2013年度

No.1

【ホームページアドレス】 <http://www.akunehp.com/>

阿久根市民病院は、地域医療の中核施設として人を大切に信頼される医療を目指します。



「桜満開」

◆基本方針

1. 満足度の高い急性期高度医療の提供を目指します。
2. 十分な説明と納得による医療を心掛けます。
3. 「かかりつけ医」との密接な連携による医療を行います。
4. たゆまぬ向上心と学習により、より良い医療を目指します。
5. 公正で健全な運営を行います。

CONTENTS

*院長就任あいさつ.....1	*5月の出水郡医師会
*消防訓練を実施しました.....2	日曜祭日当番医.....6
*患者さんの権利と責務.....2	*病院ボランティア募集.....7
*消化器病センターの紹介.....3~4	*新人紹介.....7
*健康教室のご案内.....4	*お知らせ.....7
*リハビリの窓.....5	*医療機能情報提供について.....7
*外来診察表.....6	*編集後記.....7

広報誌「かけはし」は、当院のホームページでもご覧になれます。

病院ボランティア募集

阿久根市民病院では、患者さんの生活の質の向上、地域の人々への病院理解、病院職員への啓蒙などを目的としてボランティアを募集しています。

活動内容

- 1 身の回りのお世話
花を生ける水を替える、善湯のみの洗浄、下膳、お茶くみ、食事介助、洗濯、買い物、洗髪、入浴介助、床頭台の清掃、ゴミ捨て
- 2 話し相手
筆談、手話、本を読む等
- 3 その他
院内の案内、散歩に連れて行く、ベッドの移動、荷物の搬送、清拭タオルのローリング、草刈、花壇の整備等

(応募お問い合わせ)
出水郡医師会立阿久根市民病院 総務課まで
TEL 73-13331
(内線 371-374)

※どうぞお気軽にお問い合わせください。

新人紹介

循環器内科・医師

ふくもと だいichi
福元 大地

鹿児島県出身

この地域の医療に貢献できるよう頑張りたいと思います。よろしくお祈り致します。

整形外科・医師

かわばた なおや
川畑 直也

鹿児島県出身

地域医療に貢献できるよう頑張ります。

整形外科・医師

つちもち とおる
土持 亨

鹿児島県出身

海をこよなく愛する“海人”です。よろしくお祈り致します。



消化器内科・医師

ほこのはら もとし
銚之原 基

鹿児島県出身

阿久根地区の地域医療の一助となるよう精進します。よろしくお祈り致します。

泌尿器科・医師

おおさこ よういち
大迫 洋一

鹿児島県出身

一生懸命頑張りますので何卒よろしくお祈り致します。

お知らせ

意見箱について

当院では、総合受付、各病棟の患者食堂など院内8カ所に意見箱を設置しております。当院へのご意見・ご要望などをお寄せ下さい。なお、回答・検討・改善事項を各フロアの掲示板に掲載していますのでよろしくお願い致します。



医療機能情報提供について

当院の病院機能やサービスについて県に報告したデータをもとに鹿児島県ホームページにて公開されております。閲覧も可能となっております。また、同内容を1階医療情報センター内で自由に閲覧できるよう冊子を配置しております。

鹿児島県ホームページ <http://www.pref.kagoshima.jp/>

編集後記

桜も満開を迎え、新年度のスタートとなりました。当院も47名の新入職員が仲間に加わり活気に満ち溢れています。皆様方も卒業、入学、人事異動など新たな環境で今をお過ごしの方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか。春らしいあたたかい陽気になりましたが、まだまだ朝夕は肌寒さを感じます。季節の変わり目、体調管理をしっかりし、これからの新緑の季節を楽しみたいものです。

(川畑)

阿久根市民病院院長就任にあたり



立石 繁宜

私こと、立石繁宜は、平成25年4月1日を以って、阿久根市民病院院長を拝命致しました。地域住民の皆様方には、田辺元前院長同様に、阿久根市民病院が引き続きご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

阿久根市民病院は、平成元年に国立療養所からの全国初の民間移譲にて設立されましたが、私は、平成3年に一年半ほど初回赴任し、また平成12年から5年ほど出水市立病院に勤務後、平成17年から当院に転任となり今日に至っています。北薩の医療に循環器医として携わり、早や14年を迎えました。この間、多くの患者さんや心温かい地域住民の皆様方との良き出会いに恵まれました。また、一緒に働く職員との縁に対し心から感謝いたしております。

当院の理念は地域医療の中核施設として人を大切にし、信頼される医療を目指すこととあります。田辺元前院長は、この理念の基に職務を全うされ、また新病棟建設に邁進されて多大な功績を残されました。その精神を踏襲しながらも、新たな風を吹き込むのが、後任者の務めであり、役割であると思っております。

さて、我が国は、有史以来経験のない少子高齢社会を迎えています。平成22年度の阿久根地区の少子化率11.5%、高齢化率35.1%で、県や国の平均を上回り、また、当院の入院患者さんの平均年齢は、男女共に75歳を超え、言わば10年後の日本社会を先取りした観があります。そのため、今後の社会変化に応じた診療科を含めた病院の在り方を模索検討しているところです。

しかも、医師や看護師の社会的偏在と、その地域格差による人材不足は、地域医療の根幹にも関わる社会問題化しています。一方、医療の急激な高度化による先端医療機器の導入、および通信技術の急激な発展に伴う医療のIT化の波は避けられません。このような先進医療を担うためには、医療の進歩にたゆまぬ向上心を持つ新たな人材の確保が必要になっていきます。

しかし、これらの人材確保には、その良質な職場環境の整備も必要です。そのために、住民の皆様には、夜間救急の適切な利用目的で野田に二次救急施設が開設されたことへのご協力と、また当院がかかりつけ医との診療連携による医療体制であることへのご理解を、今後ともお願い致します。

これらの多くの社会的課題を見据えながら、阿久根市民病院は、その理念にも謳われているように、急性期高度医療を提供できる中核病院としての役割を果たすべき、患者さんには十分な説明と納得に基づき、また住民の皆様のご意見とそのご要望に沿いながら、より良い医療の提供に努めたいと思っております。どうか宜しくお願い申し上げます。

消防訓練を実施しました。

平成24年度第2回目の消防訓練を2月22日に実施しました。火災発生場所を7階病棟、出火時刻を午前1時、入院患者数32名と想定。当直役の医師・看護師・検査技師・放射線技師・薬剤師・事務職員・守衛が協力し、初期消火活動ならびに患者さんの避難誘導を行いました。参加した職員は真剣に訓練に取り組み、訓練後は阿久根消防署の方も交え反省会を実施しました。訓練評価者・消防署の方々は、初期消火活動・避難誘導に関して厳しい指摘をいただき、消防訓練のあり方を再度考えさせられました。

職員全員、火災発生時における行動や自身の役割を考え直し、日ごろの防災意識の向上に努めていかなければなりません。万が一、火災が発生した場合は、慌てず落ち着いて行動することが第一です。安全な避難場所や誘導方法を確認し、それに備え訓練を続けることが重要です。災害対策委員会でも、更なる職員の防災意識向上を図れるよう活動を継続し、患者さんが安心して治療に専念していただけるよう努力してまいります。

火災はいつ起こるかわからないものです。ご家庭でも火の取り扱いには十分に注意しましょう。
(文責：矢野)



避難誘導の様子1



患者1次避難所



避難誘導の様子2

※インフルエンザ警報発令中、全員がマスクをしての消防訓練です。



訓練後の反省会

患者さんの権利と責務

～阿久根市民病院は患者さんの権利を尊重します～

1. だれでも良質な医療を公平に受ける権利があります。
2. 個人の尊厳は、医療行為のあらゆる場面において尊重されます。
3. 医学的な状態、診断、処置その他の個人情報は保護されます。
4. 治療・検査の方法、薬の内容等について十分な情報と説明を受け、理解した後、同意・拒否を選択する権利があります。
5. 診療録等に記録された自己の診療内容について、本院の規則により、情報の提供を受ける権利があります。
6. 自らの健康に関する情報をできるだけ正確に医療提供者に伝える責務があります。
7. 病院の規則を守り、他の方の療養や職員の業務に支障を来さないように配慮する責務があります。
8. 他の医師や第三者の意見も聞き、納得して治療を受ける権利(セカンドオピニオン)があります。

消化器病センターの紹介

消化器病センターとは

たとえば胃の調子が悪くて病院を受診したとき、通常は外科であったり内科であったり、はじめ受診した診療科でまず診察が進みます。当院では患者さんが受診した最初から、外科・内科・放射線科の専門医師がいつしよに話し合いながら診療にあたり、患者さんに最も適した治療法を選んでいきます。これをセンター化といい、消化器病センターという名称になっています。

当センターの理念

ガイドラインや学会のコンセンサスに沿った最新・最適な治療を、地方においても都市部と変わりなく提供することを目指しています。

当センターの特徴

外科・内科・放射線科と複数の専門科からなり、常勤9名、非常勤8名の医師が担当します。胃や大腸はもちろ

ん、肝臓や膵臓、胆道に至るまで、良性・悪性に関わらず幅広く消化器の疾患を扱っています。また肺や乳腺、甲状腺など、消化器以外の外科的疾患を数多く扱っているのも特徴のひとつです。

その中でもとくに多いのが、がん患者さんです。最新の機器による診断から内視鏡的粘膜切除、手術、化学療法（抗がん剤治療）など各種治療、それから緩和医療にいたるまで、がん治療に必要なほぼすべての医療を当院で受けられることができます。緩和に関する情報は、県内に5ヶ所しかない緩和病棟を備えています。このようながん医療への取り組みが認められ、当院はがんの治療を専門的に行なう鹿児島のがん診療指定病院に指定されています。

特殊な病気であったり、さらに専門的な治療が必要な場合は、鹿児島大学病院や熊本大学病院などと密に連携を取りながら、患者さんへの最善



「内視鏡室」

を月1回、緩和ケア外来を週2回、セカンドオピニオン外来を週1回行なっています。詳しくは地域連携室にお尋ねください。

■ 昨年の治療実績

昨年（平成24年）に実施された消化器病センターの手術総数は309例で、うち胃がんが34例、大腸がんが48例でした。その他、肝がん、膵がん、肺がんなど、数多くのがんの手術が施行されました。良性の主な疾患としては胆石症が29例、虫垂炎が21例であり、これらはほぼ全例腹腔鏡下で手術が行われました。ま



「化学療法室」

の医療の実施に心がけています。

■ 医療機器

当センターは最新の機器を数多く導入することで、良質な医療の実現を目指しています。CTは高性能の64列型MDC Tを平成22年から稼働、MRIは昨年バージョンアップを行い画質が向上しました。内視鏡は特殊光による精密な観察が可能なタイプ、エコー（超音波）は特殊薬で造影が可能な最新のタイプが導

た腸閉塞や消化管出血・穿孔など、救急の患者さんもたくさん受診されました。

■ 日常生活での注意点
お腹の調子が悪い、便の具合がおかしいなど、何かいつもと違うなと思ったら、そのままにせず、すぐにかかりつけの先生に相談しましょう。とくに原因不明の体重減少や貧血、血便・黒色便には、注意が必要です。かかりつけの先生が必要と判断したら、当センターを紹介され精密検査を受けることとなります。

（文責：今村）

健康教室のご案内



日時	テーマ	講師
6月20日(木)	肝臓の話	紙屋医師
8月21日(水)	心臓病の話	立石院長
10月17日(木)	身近な感染症と予防法	崎田医師
12月18日(水)	糖尿病と食事療法	循環器科医師

*健康教室会場:阿久根市民病院 管理棟4階ホール
時間はいつでも午後2時から3時までです。
どなたでも参加できます。参加希望の方は事前にご連絡下さい。

*お問い合わせ 【健康教室担当者】
出水郡医師会立 阿久根市民病院
TEL 73-1331 FAX 73-3708 木山淳子

入されています。また鏡視下手術には、良好な視野で安全な手術が出来るようにハイビジョンカメラを使用しています。



「鏡視下手術」

■ 診療の実際

かかりつけの先生からの紹介で受診していただきます。まずは内視鏡やCT、MRIなどで診断をします。次にその病状に合わせて、複数の医師で話し合いながら、最適な治療を選択していきます。早期の胃癌や大腸癌では、

外来診察表

診療科目	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	
循環器内科 (一般内科)	立石 繁宜 下野 洋和 (立石・下野)	福元 大地 下野 洋和 (福元・下野)	安崎 和博 福元 大地 (安崎・福元)	検査日 (大迫)	立石 繁宜 安崎 和博 (立石・安崎)	予約検査	
心臓血管外科		【第2】(熊本中央病院)					
神経内科	児玉 大介						
血液内科				新居 亮彦			
眼科	平瀬 純伸	平瀬 純伸	平瀬 純伸	手術	平瀬 純伸	予約検査	
脳神経外科	手術	平原 正志	平原 正志	平原 正志	検査日	予約検査	
整形外科	恒吉 康弘 川畑 直也 土持 亨	川畑 直也 内山田 桜 手術	恒吉 康弘 土持 亨 手術	手術	恒吉 康弘 川畑 直也 内山田 桜	予約検査	
泌尿器科	加々良 一朗 大迫 洋一	手術	加々良 一朗 大迫 洋一	加々良 一朗	加々良 一朗 大迫 洋一	予約検査	
放射線科		堀之内 信	堀之内 信	堀之内 信	堀之内 信		
耳鼻咽喉科 (15:30まで受付)		診察日 (鹿児島大学・耳鼻咽喉科医)			診察日 (鹿児島大学・耳鼻咽喉科医)		
消化器病 センター	消化器内科	紙屋 康之		紙屋 康之 銚之原 基	銚之原 基	予約検査	
	消化器外科	手術日	田辺 元 今村 博	手術日	今村 博 崎田 浩徳	予約検査	
	緩和ケア外来 セカンドオピニオン外来		坂元/今村 (14:00~15:00) 今村 博 (16:00~16:30)		坂元 昭彦 手術日 (14:00~15:00)		
	胃カメラ 大腸カメラ	銚之原 基	紙屋/銚之原	熊本大学・ 消化器内科医	(大腸カメラ) 中村 直英 (クリニックなかむら)	紙屋 康之 (熊本大学・消化器内科医)	予約検査
	肝臓内科	馬場 芳郎 (鹿児島厚生連病院/肝臓内科部長)					第1・3金曜日診察(受付 13:30~16:30) 要予約/要紹介
乳腺外来	吉中 平次 (鹿児島大学内分科/教授)					第4木曜日診察(受付 14:00~16:00) 要予約/要紹介	

※ただし急患はこの限りではありません。
 ※外来受付時間は、初診の方は8:30~11:00、再診の方が8:30~11:30です。
 ※一般内科は循環器内科と併用の診療となる為、待ち時間等時間が生じる場合がございます。
 ※現在は消化器病センターのみセカンドオピニオン外来を設置、他科については通常外来の時間帯に随時対応しています。

5月の 出水郡医師会 日曜祭日当番医

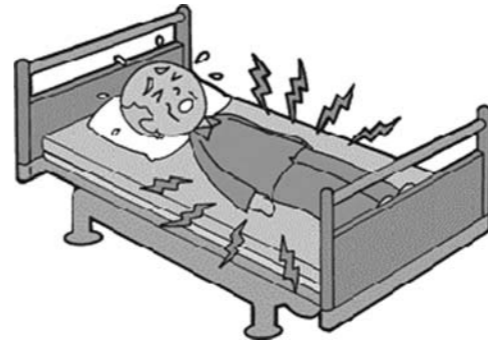
変更になる場合がございますので、受診される前に医療機関にお問い合わせ下さい。



月日	出水市	阿久根市	長島町
5月 3日(金)	出水病院 TEL 62-0419 こどもクリニック永松 TEL 64-1500	有村産婦人科内科 TEL 73-4180	鷹巣診療所 TEL 86-0054
4日(土)	出水眼科 TEL 62-8350 境田医院 TEL 67-2600	林胃腸科外科 TEL 73-3639	長島クリニック TEL 88-6405
5日(日)	キッズクリニック TEL 63-7707 福永内科循環器科 TEL 62-8200	植村整形外科 TEL 72-1041 脇本病院 TEL 75-2121	平尾診療所 TEL 88-2595
6日(月)	よだ泌尿器科クリニック TEL 63-7800 二宮医院 TEL 62-0167	阿久根眼科 TEL 72-0040	飯尾医院 TEL 88-5040
12日(日)	楠元内科医院 TEL 62-8600 来仙医院 TEL 84-2005	上園医院 TEL 73-1055	鷹巣診療所 TEL 86-0054
19日(日)	広瀬産婦人科医院 TEL 62-1559 吉井中央病院 TEL 62-3111	内山病院 TEL 73-1551	長島クリニック TEL 88-6405
26日(日)	市川医院 TEL 63-3151 クリニックなかむら TEL 62-0241	鶴見医院 TEL 73-0553	平尾診療所 TEL 88-2595

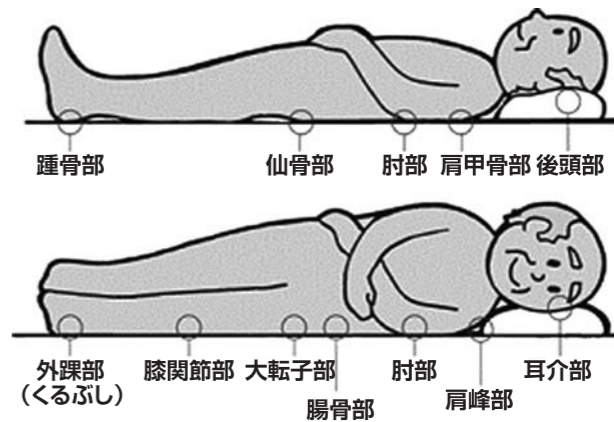
〜リハビリの窓〜 床ずれとは〜

●床ずれの発生しやすいからだの部位
 床ずれは、骨の出ているところに起こりやすくなります。特に



●直接の原因：寝ていると骨が寝具と接する部位に体重が集中します。自分で身体の向きを変えられないと、この圧迫が長時間続いたままになります。その結果、毛細血管に血が通わなくなり、皮膚組織が壊死して床ずれになってしまいます。つまり、床ずれは長時間の圧迫が原因で発生します。
 ●間接的な原因：ズレや摩擦、皮膚のムレ、栄養不良、症状の自覚がない、介護力不足

●床ずれ予防
 ・体圧の分散
 体圧の集中は、より広い面積で体を受け止めることにより分散させることができます。低反発のウレタンフォームで支えるマットレスや空気圧で支えるエアマットなどの床ずれ予防用具の使用は、体圧分散性に優れた大きな効果を発揮します。【図1】



「仙骨部」は、体の約44%という高い圧力が加わり、床ずれの発生の危険が最も高い部位です。

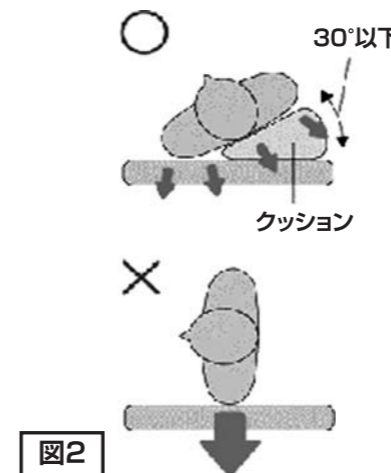


図2

※90度横向きになる姿勢は体圧が局所に集中するので厳禁です。30度以下にして広い面積で身体を支えるようにしましょう。【図2】

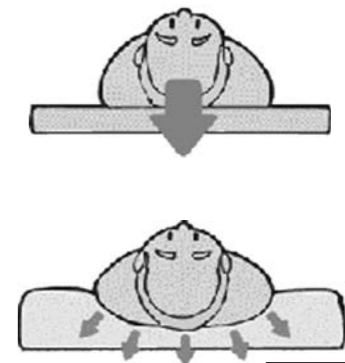
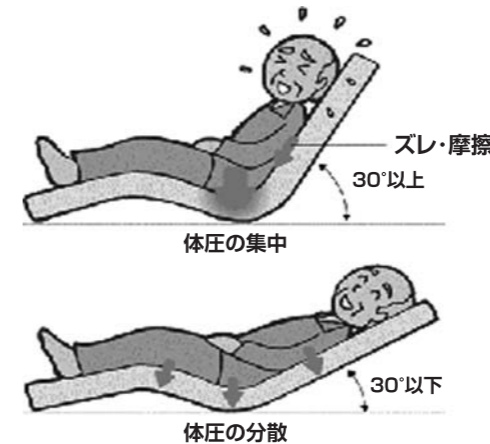


図1

●初期症状では皮膚が赤くなり、変化を毎日チェックしましょう。(文責：溝口)



●ズレ、摩擦対策
 ベッドの背上げをした状態は、寝ているときよりもお尻に大きな圧力がかかります。また、姿勢保持が困難なために上体がズレ落ちて背中や腰の皮膚組織にズレや摩擦を生じ、床ずれの原因をつくってしまいます。大きな負担がかからないように背上げ角度は30度以下を目安とし、長時間同じ体位にならないように気をつけましょう。